

きいて・めもして・こたえよう

こめづく のうか 米作り農家への インタビュー

なまえ
名前

聞くめあて しつもん（質問）と、田村さんの答えを、対応させてメモしましょう。とくに、事実と、田村さんの考え（思い）を分けて聞きます。

おとさない言葉：ことば しつもん こた 質問と答え・くふう・数字

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

（１）田村さんは、米作りを何年、続けていますか。

（２）田村さんが、一年でいちばん大変だと答えた仕事は、何ですか。

（３）おいしいお米を作るために、田村さんがいちばん大切にしていることは何ですか。○をつけましょう。
ア きかいを新しくすること
イ 水の管理

ウ 広い田んぼを持つこと

（４）次のうち、田村さんの「考え（思い）」が書かれているのは、どれですか。○をつけましょう。
ア 夏の草取りは、朝早くから作業する
イ 田んぼの水の量を、毎日調整する

ウ 安全でおいしいお米を、たくさんの人にとどけたい

（５）あなたが田村さんにインタビューするなら、どんなことを聞きますか。「しつものの文」で一つ書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、わたしたちの町でお米を作っている農家の、田村さんにインタビューをしました。田村さんは、四十年以上、米作りを続けているベテランです。子どもたちからの質問に、ていねいに答えてくださいました。その様子をしょうかいします。

はじめの質問は、「一年の中で、いちばん大変な仕事は何ですか」でした。田村さんは、こう答えました。「田植えと、しゅうかくの時期です。とくに夏の草取りは、朝早くから、暑い中での作業になります。でも、この手間をかけるほど、おいしいお米ができるのです。」

つぎの質問は、「おいしいお米を作るために、どんなくふうをしていますか」でした。田村さんは、「水の管理がいちばん大切です」と言いました。「気温や、いねの育ち具合を見ながら、田んぼに入れる水の量を、毎日調整します。土作りにも力を入れ、いねが元気に育つように、たい肥をまぜています。」

最後に、「これからの夢は何ですか」と聞くと、田村さんは笑顔で答えました。「わたしの作ったお米を食べた人が、『おいしい』と言ってくれるのが、いちばんのよろこびです。これからも、安全でおいしいお米を、たくさんの人にとどけたい。それがわたしの夢です。」

田村さんの話を聞いて、一つぶのお米にも、農家の人の、たくさん努力とくふうが詰まっていることが分かりました。ごはんを、大切に食べようと思いました。

メモのれい

米作り農家・田村さんインタビュー（四十年以上）

大変な仕事：田植えとしゅうかく／夏の草取り（朝早く・暑い中）

くふう：水の管理がいちばん大切（水の量を毎日調整）／土作り・たい肥

夢（考え）：安全でおいしいお米をたくさんの人にとどけたい

こたえと かいせつ

（1）四十年以上

「田村さんは、四十年以上、米作りを続けている」の部分です。

（2）田植えとしゅうかくの時期（とくに夏の草取り）

「田植えと、しゅうかくの時期です。とくに夏の草取りは…」と答えていました。

（3）イ（水の管理）

「水の管理がいちばん大切です」と言っていました。水の量を毎日調整しています。

（4）ウ（安全でおいしいお米を、たくさんの人にとどけたい）

アとイは「していること（事実）」、ウは田村さんの「夢・思い（考え）」です。

（5）（例）米作りで、いちばんうれしいのは、どんなときですか。／きかいは、どんなものを使いますか。

米作りに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。